

会員 73 名中 40 名出席 54.79%
 修正 50 人 68.49%
 メイクアップ 10 名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長

先週の土曜日の夜半に大きな地震が起きました。10 年前の悪夢の再来かと思うほどの揺れに驚かされました。県内で 84 名の方がケガをされたようですが、幸いにも死亡する方はいなかったようで、不幸中の幸いというところでしょうか。クラブとしても会員の方々の被災状況の確認をいたしました。建物内外の物の散乱、破損は勿論、建物自体の被害を受けた方もおられました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。2 月も半ばになり、春浅しとは言え、少しずつ日が長くなってきているのを感じます。今週は、日曜日は春の陽気、月曜は大雨、火曜は冬に戻ったような日替わりの天候が続き、寒い雪の閉塞感も、「余寒」だの「春寒」などと言いながら、やがて来る春の前触れとして捉えると、何か待ち遠しい気分が変わってきます。

さて、今、世の中は新型コロナウイルスに席卷されている状況ですが、疲弊する医療関係者の方々、そして不幸にして感染された方への偏見や誹謗中傷といったものが大きな社会問題になっているようです。この件に関しましては、後で、幹事からシトラスリボンの件を報告してもらいます。話は変わりますが、2 月は、紛争予防の月間であります。皆さんの周りでは紛争とまではいかなくても、ちょっとしたいざこざや気まずいことになっていることはないでしょうか。いくら奉仕の理想を語るロータリアンといえども、完成された人間という訳ではありません。この世に生きている以上全ての人間は修行中でありまして、誰もがこの内面に良くないことつまり「悪」というものを抱えていて、その善と悪の葛藤の中で生きているのであります。夫婦でも親しい友人でも、普通に接していれば、あまり感じないわけですが、互いに頼り過ぎたり、近づき過ぎたりすると、どうしても相手の見たくない部分まで目に入ってしまうこととなります。大切にしたい連れ合いや友人ほど片方の目をつぶって見てあげるとか、適度な距離を置いて付き合うということが大切なのかもしれません。

今日は、この後、菅野淳様にスピーチを頂くこととなりますが、菅野様は、古い歴史に造詣が深いばかりでなく、未来へ向けた斬新な発想もお持ちの方です。楽しみに拝聴させて頂きたいと思っております。

斬新な発想と言えば、皆さんは先週の将棋の朝日杯トーナメントをご覧になったでしょうか。驚いたのは、藤井二冠が準決勝では 99%、決勝でも 98% 負けという AI の予想を覆して優勝したことです。私自身も何故か爽快な気持ちになり少し嬉しくなりました。そして、対局後のインタビューで「これまでに経験したことのない一手でした」という AI のコメントが聞こえてきたのは私の幻聴だったのでしょうか。このコロナ禍の中で、そのような一手がほしいものです。

次回 2 月 24 日 (水) 第 30 回例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. スマイル BOX 報告
6. 各種表彰
7. ポール・ハリス追悼(パネルディスカッション)
8. 幹事報告
9. 閉会点鐘

【 例会 予 定 】

- 2 月 27 日 (土) 創立 50 周年記念例会 (中止)
- 3 月 3 日 (水) 休会
- 3 月 10 日 (水) 誕生祝い、読みどころ、クラブ協議会、ゲストスピーチ

【 地区・分区・その他関連行事 】

- 2 月 28 日 (月) 地区チーム研修セミナー(オンライン)
- 3 月 6 日 (土) あれこれなんでも相談 (中止)



◆感謝状「銀座中央区の築地川公園植樹が完了 (ハナモモ・ボタンが植えられました)」

●寄贈した築地川銀座公園の植樹が完了し、東京都中央区長から松崎会長宛に感謝状が届きました！



◆創立 50 周年記念実行委員会経過報告 鈴木 恒昭 実行委員長

今まで会長を始め執行部役員の方々には、大変お忙しい中、数十回にわたり、協議打合せと出席、ご意見をいただきまして誠に有難うございました。新型コロナウイルスの感染で、予期せぬ事態が長引き、いろいろ変更となりました。簡単に順を追って報告申し上げます。2 月 27 日の創立 50 周年記念式典祝賀会中止、そして、縮小して行う事にいたしました記念例会も中止 3 月 31 日 (水) が当クラブの創立記念日でありますので、その日に合わせて創立 50 周年例会といたします。また、コロナ禍が深刻化した場合には、更に再検討方向で進めております。

◆次年度幹事セミナー報告 渡邊 正義 副会長

参加させていただいた次年度幹事セミナーについて報告させていただきます。福島南ロータリークラブからは、地区ガバナー補佐の廣澤会員、地区幹事の林会員、同じく地区幹事の赤間会員とともに参加いたしました。今回は福島西 RC さんがホストクラブで、廣澤地区ガバナー補佐の挨拶に始まり、阿久津バスターガバナーが講師になり講義をいただきました。「幹事はクラブの要であり、キーパーソンである。決して黒子ではない。幹事職の重要性、その会の良し悪しは幹事次第で決まる」とまでおっしゃっていただきました。

「クラブの 3 年後、5 年後の姿を思い描く、会員が積極的に参加でき情緒豊かな例会とする。クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る。クラブリーダーが地区研修会に参加する新会員のためオリエンテーションを定期的に行う。会員の満足度を高める」などのお話もありました。

最後に、阿久津バスターガバナーの書かれた詩が紹介され、セミナーが閉会されました。以上、次年度幹事セミナーに参加の報告とさせていただきます。

◆ゲストスピーチ ヒューマンネットワーク 菅野 淳一 様

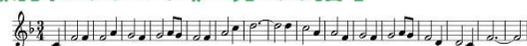


＜歴史と文化の旅 案内人・ツアープランナー＞
 NPO 法人ヒューマン・ネットワーク福島主宰：菅野淳一様に「古閑裕而の音楽人生」と題して、スピーチをいただきました。短時間の中、古閑裕而先生のすべてを伝えていただきました。本当に貴重なお話を有難うございました。

中でも知らずにビックリしたのは、閉店のあの曲は『別れのワルツ』です。多くの人に『蛍の光』だと勘違いされているあの曲の正体。実は、『蛍の光』とは別物。デパートなどが閉店の時に流れるあの曲。古閑裕而先生が作曲した『別れのワルツ』という曲なんです。

《別れのワルツ》はワルツ(円舞曲)の名の通り三拍子です。

《別れのワルツ》4分の3拍子



音楽は奥が広いです、勉強になりました！

